

# 飲酒の害と健康

酒の主成分 ... (アルコール)



胃や小腸で吸収されて血液中に入り、全身を巡ります。

アルコールには (麻酔) 作用があるので、(月凶) がまひし、(思考) 力や自制力、運動能力などが低下します。

その結果

転落、(交通) 事故、暴力などの事件を起こすことがあります。

アルコールは主に (肝臓) で分解されますが、その能力には個人差があり、限界があります。

短時間に大量の飲酒をすることで ...



(急性アルコール中毒) を起こして、呼吸や (意識) がなくなり、死に至ることも。

※ 「イッキ飲み」は決して自分でしたり、人にさせたりしてはいけません！

飲酒の習慣が糸状くと ...

飲酒の量がだんだんと (±増え)、



飲酒をやめられなくなるほど

(アルコール依存症) になることがあります。